

平成15年度未踏ソフトウェア創造事業

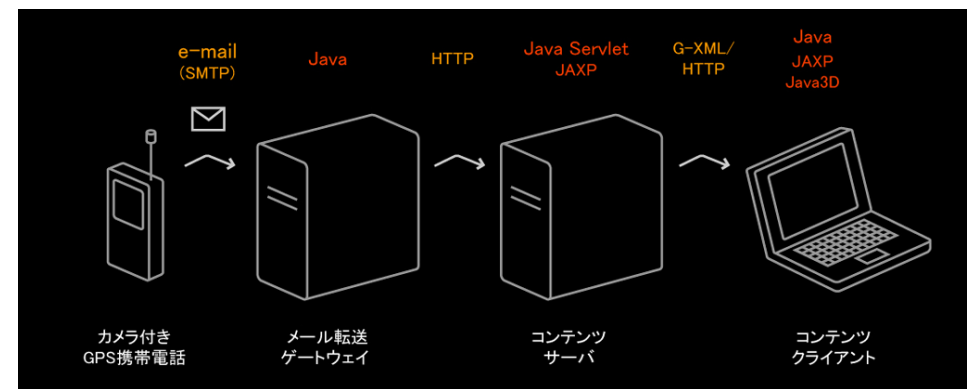
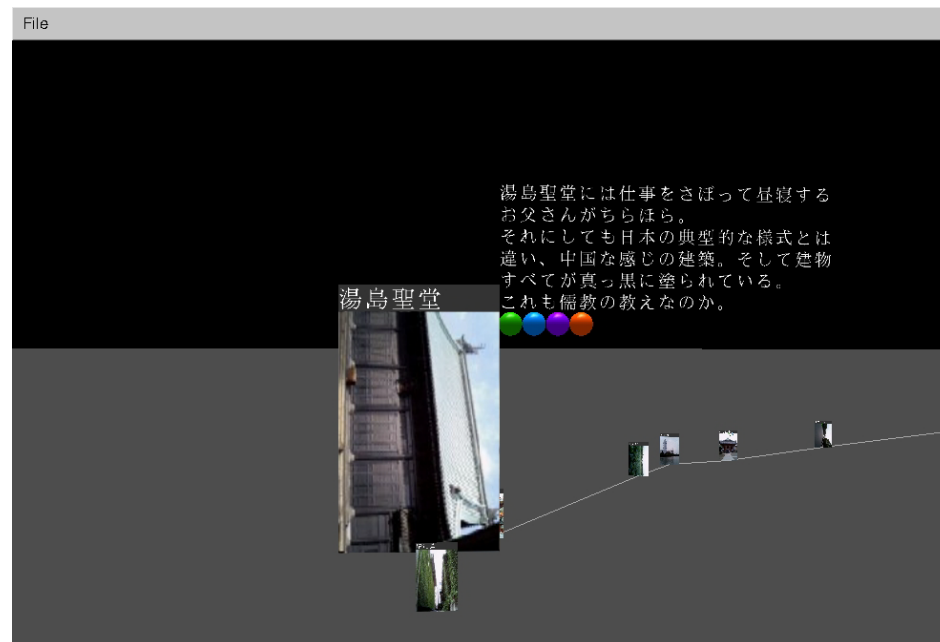
「位置情報付き画像を中心とした空間情報コンテンツ制作システム」

開発代表者：杉原 聡

成果概要

キャッチコピー

デジカメ付きGPS携帯を持って街並を撮って歩こう
自分のたどった道 — メモや日記の代わりだけでなく
他の人のスナップ — 情報収集や疑似体験のためだけでなく
普段とちがう街の風景が見える



図左：空間情報コンテンツビューアー画面
図上：システム構成図

開発の目的

地理情報システムによって現われ行く現実と並行する仮想空間を、現実空間の写しとするだけでなく、現実空間に対する受動的なリアクションを蓄積するだけの場でもなく、個人がアグレッシブに発信し、人々が共有する2つの空間の間で豊かな相互干渉を引き起こすような場を用意すること。

主な機能、特徴

メールからサーバへのコンテンツ登録を行う空間情報コンテンツ登録メールゲートウェイ
ユーザが画像の位置情報などを編集するのに用いる空間情報コンテンツエディタ
制作したコンテンツを既存の標準規格で配信する空間情報コンテンツサーバ
本システムで作成されたコンテンツの閲覧に特に適した空間情報コンテンツビューア
手軽に画像を送信、通常のディスプレイで実空間を感じさせながら閲覧できるシステム

メッセージ

GPS機能・デジカメ付き携帯端末の普及により、写真撮影の位置と画像情報が同時に獲得できるようになった今日、人々が気軽にあるいは意図的に街や風景のデジタル画像を蓄積し、それをリアルな感覚を伴ったバーチャルな時空間情報として楽しめるようにした。豊かな空間情報表現を探索開拓し、次世代の空間情報コンテンツの発展に寄与するためのシステムです。